マルン換気

オゾン発生器内蔵給気ユニット

nexQURE

株式会社nexott

オゾンとは

O_3

オゾンそのものについてはどのくらいご存知でしょうか？

実は**オゾンは大気中に自然に存在し、大気を自浄する働き（脱臭・除菌）をしています。**

私たちが吸っている空気中の酸素は2つの酸素原子から出来ていますが、
オゾンは3つの酸素原子から出来ています。
日差しの強い海岸などでは0.03～0.06ppm、
森林では0.05～0.08ppmの濃度が観測されています。

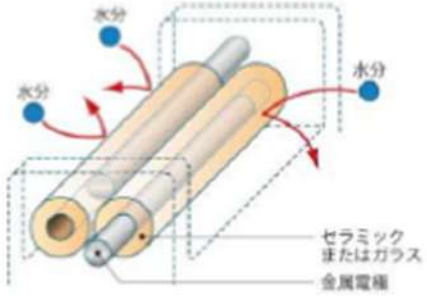
米国や日本でのオゾンの作業環境での許容濃度は0.1ppm
以下と定められています。

許容濃度で正しく使えば薬品やガスに比べ安全で扱い容易な物質です。

【オゾン濃度計算式】
オゾン発生量(mg/h)÷容積(m^3)÷2.14＝オゾン濃度（ppm）

高性能･オゾン発生体

メカニズム



特徴

特許を取得した高性能オゾン発生体を搭載しています。

金属電極をセラミックやガラスで覆い、露出しない構造としたことで、
オゾン発生を阻害する空気中の水分やガス成分の影響を受けにくい

従来品は、高温・高湿環境ではオゾン発生効率が極端に低下して
いましたが、本発生体は温湿度の影響を最小限に抑えているため、
常に安定した効果を発揮します。

金属電極が露出していないため、空気中の水分やガス成分の影響に
電極が劣化する心配がなく、簡単な洗浄で長期間使用できます。

日本オゾン協会認定のオゾン発生体を搭載しています。

長寿命
電極が外部に露出していないため、放電
及び副生物による摩耗がなく長寿命

湿度に強い
湿度90%以上でも安定してオゾンを発生
※結露状態では発生しません

安定が早い
オゾン濃度を短時間で安定させられます
また、間欠運転もμsec単位での制御が可能で
幅広い用途でご使用頂けます

小型オゾン発生装置
型式認定証

小型発生器 認定 日本オゾン協会
JOA-S1904

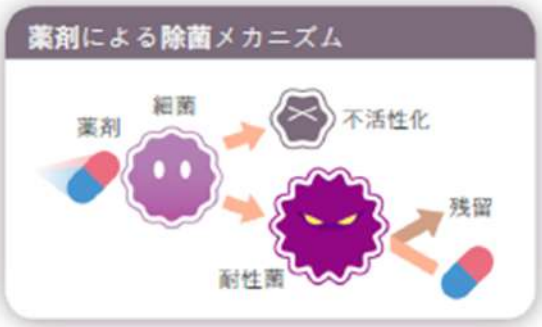
本製品には日本
オゾン協会認定
のオゾン発生装
置が搭載されて
います。

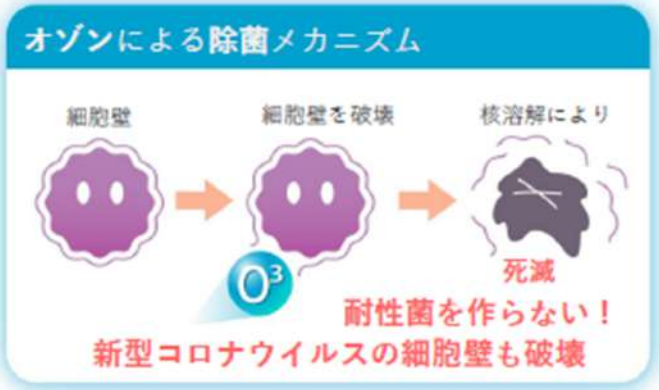
【認定制度とは】
日本オゾン協会が独自に定めた基準を
満たした製造事業者や製品を認定する制度です。
（詳しくは<http://www.j-ozone.org/system/index.html>）

オゾンによる除菌･消臭　メカニズム

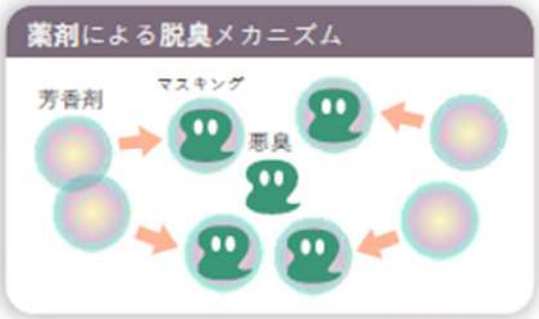
オゾンの強力な酸化力により細菌・ウイルスを不活化します。

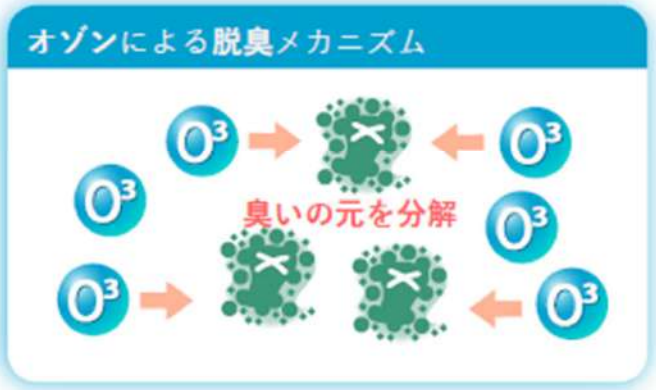
除菌





脱臭





臭い元と分解するので、根本から消臭出来ます。

対ウイルス･細菌試験　エビデンス

ウイルス：ノロウイルス

検証試験結果報告書

分析結果

実験内容：ノロウイルスに対する殺菌効果の検証
検体名：オゾンガス（0.1ppm・12時間）
機器名：オゾンガス生成装置
オーニット株式会社製
検査方法：RT-PCR法
受付日：平成19年1月20日

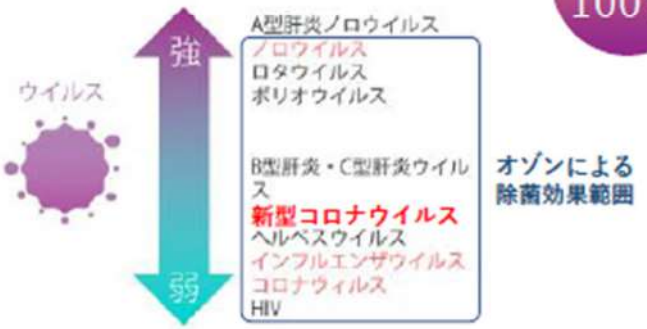
電気泳動写真
（ノロウイルスを標的に増幅されたDNAの有無（バンド）の結果）

検証項目	結果
① 対照区（ノロウイルス懸濁液）	陽性（+）
② 対照区（ノロウイルス懸濁液）	陽性（+）
③ 試験区（オゾンガス[0.1ppm・12時間]処理）	陰性（−）
④ 試験区（オゾンガス[0.1ppm・12時間]処理）	陰性（−）

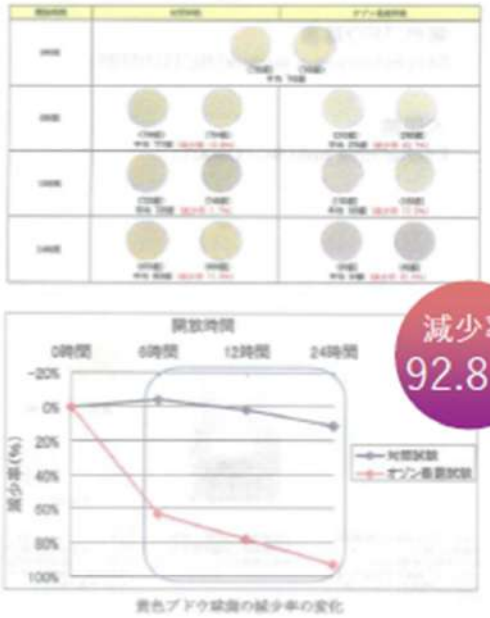
試験区（オゾンガス[0.1ppm・12時間]処理）ではノロウイルス遺伝子が検出されなかった。よって、オゾンガス[0.1ppm・12時間]処理にはノロウイルスに対する殺菌効果があると考えられる。

<※試験の詳細は別紙参照>

減少率
100%



細菌：黄色ブドウ球菌



細菌：大腸菌

**オゾンはウイルス・細菌に有効に作用し、
不活性化させている事がわかる。
当然の事ながらノロより耐性の低い他のウイルスに
対して同様の効果が期待できる。**

対アレルギー試験　エビデンス

アレルゲン：ダニアレルギー

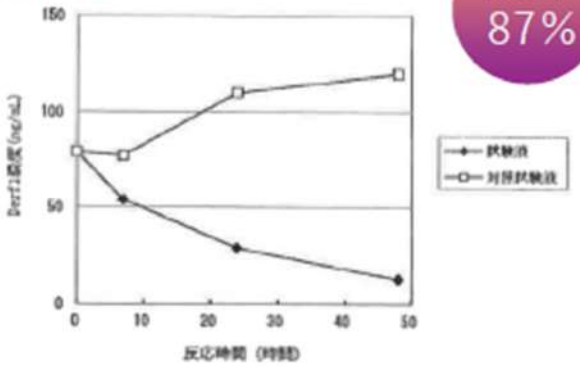
試験結果

	時間	Derf1 濃度(ng/mL)
試験液	7 時間	54
	24 時間	29
	48 時間	13
対照試験液	7 時間	77
	24 時間	110
	48 時間	120

調製直後のDerf1濃度：79 ng/mL

経時的変化

減少率 87%



アレルゲン：スギアレルギー

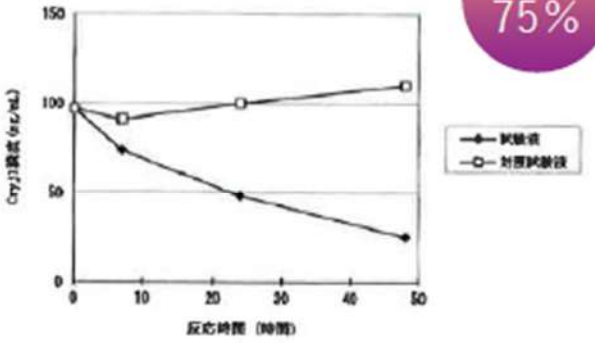
試験結果

	時間	Cryj1 濃度(ng/mL)
試験液	7 時間	74
	24 時間	48
	48 時間	25
対照試験液	7 時間	91
	24 時間	100
	48 時間	110

調製直後のCryj1濃度：97 ng/mL

経時的変化

減少率 75%



オゾンはアレルギー物質にも有効です！